

編集後記

「建設の施工企画」という名称では本号が最終となります。来月からは「建設機械施工」となりますが、引き続きよろしくお願ひいたします。

今月号は、当機関誌では初めてのテーマである自然再生について特集を組みました。キーワードとしては、自然環境、自然共生、生物多様性、生態系、保全、復元、…などが浮かびます。

自然再生の定義を自然再生推進法で確認すると、「過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的として、(中略)河川、湿原、干潟、藻場、里山、里地、森林その他の自然環境を保全し、再生し、若しくは創出し、又はその状態を維持管理すること」とあります。

今回の特集では、過去に損なわれた自然環境の復元のほか、建設事業に起因して将来損なわれるであろう自然環境について、その影響を最小限に留めるための方策にも言及しました。

巻頭言では、東京大学の鷺谷いづみ教授に、「緑のインフラ」への自然再生について執筆していただきま

した。鷺谷先生のご専門は生態学・保全生態学で、生物多様性と自然再生に係わる幅広いテーマの研究に取り組んでいらっしゃいます。著書としては、『自然再生 持続可能な生態系のために』(中公新書)、『生物保全の生態学』(共立出版)、『生態系を蘇らせる』(NHK出版)など多数ございます。

行政情報としては、環境省の山浦様から自然再生推進法の現状について、同じく環境省の生物多様性センターから東北地方太平洋沿岸地域自然環境情報(ポータルサイト)のご紹介をいただきました。

自然再生をテーマにした建設関連技術は世の中に幅広く普及しています。今月号の特集報文は、その中から、バラエティに富んだ13編の原稿をいただきました。第一線で活躍されている女性の執筆者が多いのも特徴です。

交流の広場は、新潟大学の「超域朱鷺プロジェクト」を紹介していただきました。野生復帰を目指しているトキをシンボルとした総合的な自然再生プロジェクトです。

ずいそうの楽しい2編もお楽しみ下さい。

(伊藤・和田)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	塚原 重美
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

編集委員

山下 尚	国土交通省
持山 昌知	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
原口 宏	コベルコ建機(株)
原 茂宏	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
久保 隆道	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
船原三佐夫	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
川西 健之	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

6月号「建設業の海外展開、海外における建設施工特集」予告

- ・インフラ海外展開推進のための有識者懇談会
これからのインフラ・システム輸出戦略
- ・JICAのインフラ関係事業展開
- ・わが国建設業の海外動向の現況
- ・換気立坑のスリップフォーム採用による急速施工
4方向大断面トンネル交差点のスリップフォームによる連続施工
- ・コロラドリバー橋と施工設備
- ・インドネシア カレバダムの施工
- ・マリーナ高速道路485工区工事
海底トンネル、鋼管矢板による二重締め切りボックスカルバートンネル施工
- ・アフリカ・マダガスカル共和国 エホアラ港建設工事
- ・シンガポール「マリーナ・ベイ・ファイナンシャル・センター」建設工事
シンガポールにおけるRC超高層建築の省力化・機械化施工
- ・ジブチ共和国 地球上で最も暑い大地に国際色豊かな5つ星ホテルが完成
- ・インドネシア デンパサール下水道整備事業
- ・香港地下鉄西港線704工区工事 市街地における岩盤地下空洞の掘削及び構築

No.759「建設の施工企画」 2013年5月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成25年5月20日印刷

平成25年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 一般社団法人日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内
電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵3154	電話(0545)35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話(022)222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話(025)280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10 三愛ビル5階	電話(052)962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話(082)221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話(087)821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話(092)436-3322

本誌上への(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏